

2020年9月16日

報道関係各位

関電不動産開発株式会社

「(仮称)関電不動産八重洲ビル」新築工事着工のお知らせ

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市北区、社長：勝田 達規）は、東京都中央区京橋一丁目において開発を進めている「(仮称)関電不動産八重洲ビル」の新築工事を9月16日に着工しましたのでお知らせいたします。

本計画地は、「東京」駅や東京メトロ銀座線「京橋」駅など5駅16路線が利用可能な交通利便性に優れたエリアに位置し、八重洲通りと昭和通りの交差点に面する希少性の高い立地です。

本件ビルは地上13階、地下1階、延床面積約13,500㎡の中規模テナントビルであり、基準階貸室面積は約850㎡（約250坪）、三面採光・四隅コーナービューによる開放的かつ整型・無柱のオフィス空間を実現しています。

計画に際しては、「より心地よく、より安全に、より創造的に」を開発コンセプトとし、働く場所や働き方の多様化への対応として、貸室内にはプライベートテラスやオフィスキッチンを設置、屋上には屋外ワークスペースや社内イベントスペースとして活用できる約250㎡のルーフテラスを計画するなど、「協働」や「創造」に適した空間づくりに注力しています。

また省エネ性能については、人検知センサーによる照明・空調の自動制御や高効率中央熱源による外気処理システムなど、様々な環境配慮技術を採用することで設計段階での建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の最高ランク（☆☆☆☆）及び「ZEB Ready」認証を取得しています。

BCP対応としては、免震構造や2回線受電の採用、72時間対応非常用発電機の設置、超高層ビル同等のガラス強度の確保に加え、有事の際のオイルタンクや受水槽の残量見える化設備を導入し、テナント企業の事業継続を支援します。

本件ビルは、京橋MIDビル（京橋二丁目／2015年竣工）、ホテル八重の翠東京（八丁堀二丁目／2020年竣工）に続く中央区内の開発プロジェクトであり、首都圏エリアにおいて引き続き不動産開発を積極的に推進してまいります。

【計画概要】

所在地 : 東京都中央区京橋一丁目 11 番 1 他 12 筆 (地番)
敷地面積 : 1,352.39 m² (409.09 坪)
延床面積 : 13,482.13 m² (4,078.34 坪)
構造規模 : 鉄骨造 免震構造、地上 13 階、地下 1 階、塔屋 2 階
主要用途 : 事務所・店舗・駐車場
設計・施工 : 大成建設株式会社
着工 : 2020 年 9 月 16 日
竣工 : 2022 年 5 月 31 日 (予定)

■本ニュースリリース配布先

大阪建設記者クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

【添付資料】… 別紙

- ・「(仮称) 関電不動産八重洲ビル」外観予想図
- ・「(仮称) 関電不動産八重洲ビル」物件所在地 (位置図)

以 上

「(仮称) 関電不動産八重洲ビル」 外観予想図



「(仮称) 関電不動産八重洲ビル」 物件所在地 (位置図)

